

令和2年度（湘南高等学校）不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 項目・目標別実施結果

項目	目標	実施結果と目標の達成状況
○法令遵守意識の向上	法令遵守し、勤務時間の内外を問わず、自らを律して行動する。	4月の事故防止会議で、教育公務員としての高い倫理観を保持して日頃の業務に携わることを確認した。6月には、行政文書の取扱いについて、3月には、服務規律の遵守を再確認した。目標を達成した。
○職場のハラスメントの防止	人権意識を磨き、良好な職場環境の維持・確保に努めハラスメントをする職員を0にする。	7月の事故防止会議で、ハラスメントの原因や防止について具体的事例から考察した。また、9月には、事故防止会議で、人権意識の向上を図った。目標を達成した。
○児童・生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	人権意識を磨き、絶対に当該行為を起こさせない。	7月にSTOPザ・スクールセクハラ資料を配付し、各自で自己点検を行った。目標を達成した。
○体罰、不適切な指導の防止	常に相手の立場や人権に配慮した言動に努め、絶対に当該行為を起こさない。	10月の事故防止会議で、「生徒たちを一人の人間として大切に思い、接することができるか」を常に教員一人ひとりが日々、自己点検することの必要性を確認した。また、生徒に相談窓口を周知した。目標を達成した。
○入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	全員が当事者意識を持って業務にあたり、盤石な体制で臨むことによって、事故を未然に防ぐ。	1月に事故防止会議を開催して、業務の手順や内容を正確に理解すること、気になることがあったら、伝えあうことなどの確認をした。新型コロナウイルス感染防止のための変更については、繰り返して全職員に周知を図り、事故防止に取り組んだ。目標を達成した。
○個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	個人情報の漏洩及び紛失を未然に防ぐ。	定期試験前に、誤廃棄防止について、また、定期的に教務手帳の適正管理について、朝の打合せで意識啓発を図った。8月と11月の事故防止会議で、個人情報の管理や校外へ持ち出す際の手続きを確認した。目標を達成した。
○交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通法規遵守を徹底し、交通事故、酒酔い、酒気帯び運転の根絶を図る。	1月に事故防止会議を開催して、酒酔い・酒気帯び運転や交通法規の遵守について意識啓発を行った。目標を達成した。
○業務執行体制の確保等	教育公務員として高い倫理観を持ち、組織として計画的かつ適正に業務を執行する。	業務について、一人で抱え込まずに情報共有を図り、相互にチェックし合い、組織的に取むことを、グループリーダーが中心となって推進することができた。目標を達成した。
○財務事務等の適正執行	私費会計基準を理解して、適正な会計処理を行う。	5月に事故防止会議で、私費会計基準を確認した。業者選定が適正に行われるように、仕様書や業者への提示について、担当者に管理職からOJTを行った。目標を達成した。

○ 令和2年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和3年度に取り組むべき課題 (学校長意見)

神奈川県教育委員会不祥事防止職員啓発・点検資料や綱紀保持の通知等の内容を職員に周知するとともに、毎月定期的に事故防止会議を実施した。「湘南高校で事故・不祥事を絶対に起こさない」をスローガンにして、自己点検を行うこと・気づいたことはすみやかに報告することを徹底し、各項目の目標を達成した。

令和3年度も「湘南高校で事故・不祥事を絶対に起こさない」のスローガンを掲げ、とくに、「体罰・不適切な指導の防止」及び「財務事務等の適正執行」を重点事項として、事故防止会議や研修で意識啓発し、改善に向けての協議等を実施する。